

授業づくりシート

「授業づくりシート」

授業づくり支援課特別支援班

【授業における教師の構え】

授業を実践するとき、大切にしたい教師の構えには、子どもの視点に立つこと、子どもの思考に寄り添うこと、そして柔軟な思考や姿勢を持つことなどが上げられます。ここでは、その時々で発揮される教師の基本的な指導技術や手だてを次のようにまとめました。子どもの実態や状況に応じながら、必要な支援や手だてを講じます。

項目	授業実践における教師の働きかけ、指導法	
(1)展開の工夫	興味・関心が持てる導入の工夫	1
	活動のやまば(夢中で活動する場、考えを深める場)の工夫	2
	成就感と次への期待感が持てるまとめの工夫	3
(2)個や集団への配慮	子どもの活動や理解の見届け、活動ごとの確認	4
	集団と個とのかかわりや相互の影響について把握し、適切に対応	5
	子ども同士がかかわる場面の意図的な設定とかかわり方の工夫	6
	学習に必要な動作がしやすい姿勢確保や補助具の工夫 (肢)	7
(3)理解や思考を促す配慮	個に応じた分かりやすい伝え方、教材の提示、活動の組み立て	8
	個の理解度に応じ見通しを持たせる働きかけ(なにを、どこで、だれと、どのように、どのくらい)	9
	理解や思考が深まるための、子ども同士の学び合いの工夫	10
	「見えにくさ・とらえにくさ」等の認知特性に対しての手だて	11
	自分で調べたり、考えたりする時間の確保	12
	子どもが自分の考えを整理できるノート指導	13
(4)説明・示範・発問・応答・賞賛など	実態に応じた具体的で分かりやすい説明・示範	14
	発問の工夫(タイミング、目標に迫る明確さ、主体的に取り組める問い、一問多答式、補助発問)	15
	口調・リズム・抑揚・速度・大きさを意識した言葉かけ	16
	肯定的な言葉かけ	17
	身振りや表情を生かした言葉かけ	18
	イメージ化を促す言葉かけ (視)	19
	子どもを見守り、動き・様子をとらえた適切な応答	20
	子どもの発言・つぶやきをとらえたていねいな応答	21
	主体的な活動を促す賞賛、励まし	22
	言葉の精選(指示、発問、説明、言葉かけ)	23
(5)板書・掲示	分かりやすい板書や掲示(文字の大きさ、配色、要点整理、図式化)	24
	1時間の学習の流れが分かる板書	25
(6)教材教具の活用	実態に応じた教材・教具(色、大きさなどの視覚・音声化などの聴覚・手ざわりなどの触覚・安全性への配慮)の活用	26
	主体的に自分の力で用いることができる教材・教具	27
	イメージ化、言語化を促す教材・教具 (視)(聴)	28
	効果的な補助具・機器の活用、開発	29
(7)ティームティーチング	T1として全体を把握し、T2との協働により授業を進行(役割分担、立ち位置、意思疎通)	30
	T2として、T1や子どもの動きを見ながら効果的に指導	31
(8)教師の構え	できる状況を引き出す柔軟な支援方法(言葉、手本、指さし、手を添える、補助など)	32
	子どもの表れに対し、目標・計画を柔軟に変える姿勢	33
	一緒に取り組み、気持ちに共感する態度	34
	子どもの発信(言葉・声・動き・表情・視線等)の受け止めと相互のやりとり	35
	安全や衛生面への配慮	36
	病状や情緒の安定の確認と柔軟な対応 (病)	37
	健康面・体調面への配慮(姿勢を変えたり、休憩を取ったりするなど) (肢)(病)	38
	子どもの呼吸状態や体温、顔色、身体の緊張状況等への注意と変化に応じた適切な対応(肢)	39